

## 第1回 新ごみ焼却施設等整備基本計画検討委員会 議事録

開催日時：令和2年9月17日（木）19:00～20:30

開催場所：鯖江広域衛生施設組合 管理棟大会議室

### 1 開会

### 2 委員紹介

#### 【学識経験者】

奥村 充司 准教授（福井工業高等専門学校）

三浦 麻 准教授（福井大学）

大和 裕也 助教（福井工業高等専門学校）

#### 【市民団体】

帰山 順子 会長（鯖江市ごみ問題懇話会）

服部 陽一 会長（鯖江市環境保全審議会）

### 3 委員会要綱について

検討委員会設置要綱について、全委員にご確認いただいた。

### 4 委員長及び副委員長の選出、挨拶

#### 【決定事項】

➤ 委員長：奥村 充司 准教授（福井工業高等専門学校）

➤ 副委員長：帰山 順子 会長（鯖江市ごみ問題懇話会）

### 5 委員会の運営について

#### 【決定事項】

➤ 検討委員会は原則公開とする。ただし、検討委員会が必要と認めるときは、非公開とすることができる。

➤ 検討委員会の議事録は摘録とし、委員が確認したものを公表する。

- 6 審議 1) 新ごみ焼却施設等整備までの流れ  
2) 施設規模について  
3) 事業概要について

【決定事項】

➤ 事務局案のとおり、本事業を進める。

【質問・回答等】

- 委員 : 新ごみ焼却施設の施設規模について、ごみ排出量の削減率を令和1年度(基準年度)から令和8年度(稼働開始の年度)にかけて6%に設定しているが、近年の状況として鯖江市は台風、豪雪及び空き家の解体等によりごみ排出量が増加している。鯖江市では、今後ごみの減量化が進まない場合、令和6年度にごみ有料化を開始する予定であるが、近年ごみ排出量が増加していること、また、令和8年度時点で現在設定しているごみの排出量まで減量化が図れているか不透明であることから、現在設定している値で今後も進めてよいのか懸念している。
- 事務局 : ごみの減量化については、組合のみで対応することは難しいため、今後構成市町と協力し、ごみの減量化が進むよう取り組んでいくことになるが、施設規模については、基本構想策定時に設定した値を基本とし、事業を進めていくことを考えている。
- 委員 : 本事業に関する地元住民への説明について、現在どのような状況か。
- 事務局 : 地元住民とはこれまで協議を重ね、本日開催された臨時総会において、建設予定地での新ごみ焼却施設等建設の認可をいただいた。今後は、適宜、施設建設に関する事項について説明を行いたいと考えている。
- 委員 : 建設予定地に鯖江市西番スポーツセンターの駐車場が一部含まれているが、建設工事期間中の鯖江市西番スポーツセンターの運営についてはどのように考えているのか。
- 事務局 : 鯖江市西番スポーツセンター来場者の安全確保が困難であること、また、駐車場確保が困難であること等の理由から、新ごみ焼却施設等の建設を開始する令和4年度から新ごみ焼却施設等の稼働後に実施する既存施設の解体工事が完了する令和9年度までについては、鯖江市西番スポーツセンターの使用を中止する予定である。
- 委員 : 既存施設の跡地利用について、今後実施するアンケート調査にてメーカーの考え等を調査してはどうか。
- 事務局 : 跡地利用については、地元住民との協議が必要であると考えており、今回のアンケート調査の内容には含めない予定である。
- 委員 : アンケート調査の中で、希望する事業方式に関する質問があるが、アンケート調査に回答しすべてのメーカーが公設公営方式を希望した場合、組合はどのように運営を行うのか。
- 事務局 : 他事例より、すべてのメーカーがDBO方式は希望せず、公設公営方式を希望することは考えにくい。仮にすべてのメーカーが公設公営方式を希望した場合は、個別に業務を委託する方式も検討することになる。

委員 : アンケート調査の中で、プラットホームは2階とし、プラットホームレベルは想定浸水深さよりも高くすることを求めているが、具体的な高さを記載するなど、詳細に指示したほうがいいのではないか。

事務局 : この内容は、国が公表しているエネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアルで求められている内容であり、アンケート調査においては現状の記載内容で問題ないと考えている。

委員 : 災害発生時、防水シャッター等も破壊され、万が一、施設に水が浸水した際、施設から発生する汚水等は環境中に排出されないのか。

事務局 : 基本的に施設には水が入らないような設計としているが、万が一、施設に水が浸水した場合でも、場内の汚水等が周辺に排出されないような設計となっている。

#### 【意見等】

委員 : 鯖江市のごみ排出量は増加傾向にあるが、市民は普段の生活の中でごみ排出量の増加について認識するのが難しいと考えられるため、市の関係機関と連携して、広報等により市民に対してごみ排出量増加の現状及びその対策等について周知したほうが良い。

## 7 その他

#### 【決定事項】

➤ 第2回検討委員会は2020年12月下旬、第3回検討委員会は2021年1月中旬の実施を予定している。

#### 【質問・回答等】

委員 : プラントメーカーに依頼する意向調査について、10月7日(水)に回答が揃う予定とのことだが、意向調査の結果は各委員に報告するか。

事務局 : 意向調査及びアンケート調査の結果をまとめて第2回検討委員会で提示する予定である。

## 8 閉会

以上